



学ぶ

つくと

の  
交差点

子どもたちにとって学ぶことは、机に向かうことだけではありません。ものづくりや絵を描くといった創作活動や「つくる」という体験から得られる学びは、机上の学習にとどまらない、ものごとの本質的な理解へとつながります。対話を重ねながらアイデアを形にしていくことや、つくり方をともに考えることなど、完成(ゴール)で

はなく「つくるプロセス」に価値を置く「造形対話」の考え方は、思考力や創造力を自然に育むきっかけになります。

今回のトークイベントでは「造形とコミュニケーション」をテーマに、クラフトやデジタルツールを用いて子どもたちのアイデアを形にするコミュニティ「VIVISTOP NITOBE」をはじめ、文化施設や教育機関など、さまざまな場所で多世代が関われる場の設計・運営を行ってきた山内

佑輔さんをゲストに迎えます。表現や創作活動など“つくることから生まれる学び”がもつ可能性について、参加者のみなさんと考えていきます。

日時：2026年2月8日(日) 18:00～20:00

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F KIITO:300

ゲスト：山内佑輔(学習環境デザイナー / 東京造形大学特任准教授)

対象：こどもの教育や創造性を育む活動に興味・関心のある方

人数：40人程度(事前申込制、先着順)

参加費：無料

## KIITO:300 キャンプとは？

「KIITO:300(キイトサンマルマル)キャンプ」では、こどもを対象に、デザイナーや建築家などのクリエイターや企業を講師に迎えたワークショップに加え、工作・ボードゲームといった常設のプログラムを通し、学びの機会創出に取り組んでいます。また、こどもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーも開催し、大人とこどもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施します。



## 山内 佑輔

(学習環境デザイナー / 東京造形大学特任准教授)

大学職員、公立小学校の図工専科教員を経て、2020年4月に新渡戸化学学園へ着任。子どもたちがやりたいと思う気持ちのままにつくったり試したりできる、偶然性にかかれた空間「VIVISTOP」を運営するVIVITAと連携し、新渡戸化学学園内にVIVISTOP NITOBEを開設し、その運営を担当。2025年から東京造形大学特任准教授に就任。

自らもクリエイターとして表現するPodcast番組「山あり谷あり放送室」は、第3回 JAPAN PODCAST AWARDS ベストウェルビーイング賞ノミネート。2021年キッズデザイン賞最優秀賞内閣総理大臣賞受賞、2025年キッズデザイン賞奨励賞、その他キッズワークショップアワード優秀賞、東京新聞教育賞等を受賞。2児の父。

造形対話がひらく、

創造性とコミュニケーション



### 【主催・お問合せ】

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

〒651-0082 神戸市中央区小野浜町 1-4

TEL: 078-325-2235 FAX: 078-325-2230

E-MAIL: event@kiito.jp WEB: https://kiito.jp

### 【アクセス】

阪急・阪神神戸三宮駅、JR三ノ宮駅よりフラワーロードを南へ徒歩20分  
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅、ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分

神戸市バス29系統三宮ターミナル前より乗車、税関前下車

連節バス「Port Loop (ポートループ)」三宮駅前より乗車、KIITO前下車

※一時利用駐車場あり、満車の場合は、お近くのコインパーキングなどをご利用ください。



申込・詳細はこちら